

## 川崎港の将来像検討フロー

### 川崎港の位置付け

経済社会の変化に適応した産業や豊かな生活を支える持続可能な川崎港

産業を支える港

豊かな生活を支える港

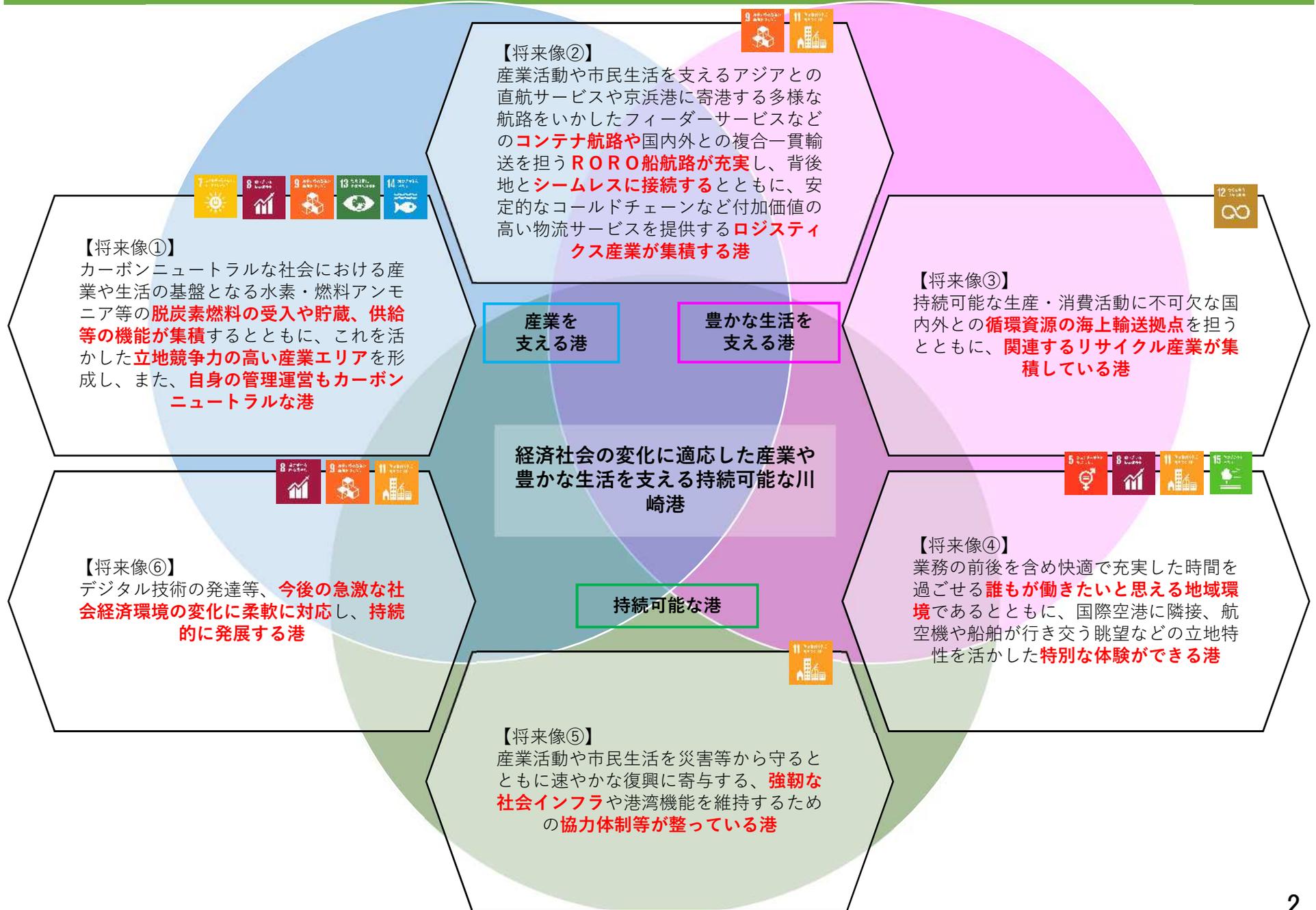
持続可能な港

- ◆ 川崎港の持つ強みをいかせる分野に集中
- ◆ 持続可能な開発目標（SDGs）に寄与するものに集中
- ◆ 川崎港が有する社会的な責任を果たす
- ◆ 将来の技術革新を積極的に活用する

### 川崎港の将来像



# 川崎港の将来像について



# 川崎港の将来像について



## 川崎港の将来像①

カーボンニュートラルな社会における産業や生活の基盤となる水素・燃料アンモニア等の脱炭素燃料の受入や貯蔵、供給等の機能が集積するとともに、これを活かした立地競争力の高い産業エリアを形成し、また、自身の管理運営もカーボンニュートラルな港

## 川崎港の強み・役割 等

○ LNGや原油を多く取り扱っており、エネルギーの輸入拠点として首都圏の産業や生活を支える

表 首都圏における港別貿易額（輸入）ランキング（2020）

	液化天然ガス（LNG）	原油・粗油
1	川崎（479,322百万円）	千葉（963,095百万円）
2	木更津（378,524百万円）	鹿島（261,719百万円）
3	千葉（338,795百万円）	川崎（261,515百万円）
4	横浜（118,640百万円）	横浜（223,353百万円）

出典：税関統計資料

○川崎市では「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」を策定し、立地している多くの企業とともに、戦略性をもって進めることとしている

図 川崎カーボンニュートラルコンビナート構想が示す川崎臨海部の将来像

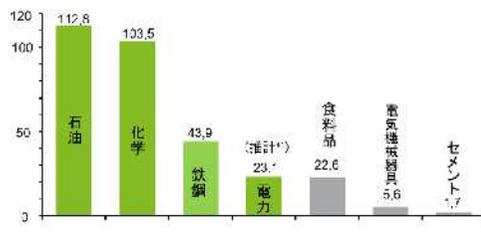
水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点

域内外の炭素を再資源化する炭素循環型コンビナート

エネルギーが地域最適化され、立地競争力のある産業地域

○日本有数の石油化学コンビナートを形成し、石油・化学関連企業が集積している

図\_川崎臨海部(川崎区)の製造品出荷額



図\_臨海部に集積する化学企業



出典：川崎カーボンニュートラルコンビナート構想

○川崎臨海部には水素配管や蒸気配管が敷設され、企業間で水素、蒸気を供給し、生産活動に活用している

図 水素配管イメージ



出典：川崎カーボンニュートラルコンビナート構想資料を基に川崎市港湾局作成

図 蒸気配管位置図



出典：川崎スチームネット株式会社HP



# 川崎港の将来像について



## 川崎港の将来像③

持続可能な生産・消費活動に不可欠な国内外との循環資源の海上輸送拠点を担うとともに、関連するリサイクル産業が集積している港

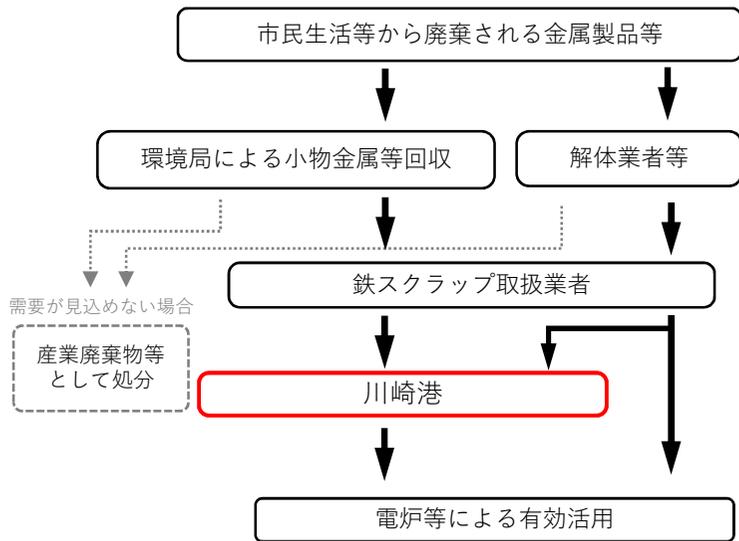
## 川崎港の強み・役割 等

○川崎港は国内・海外との循環資源の輸送拠点を担い、市民生活等から生じる資源の循環を支えている

表 金属くず輸出量ランキング (令和2年)

順位	港名	輸出量 (千トン)
1	川崎	1,242
2	千葉	1,229
3	横浜	771

図 鉄スクラップ処理フロー



○川崎臨海部にはリサイクル関連産業が集積し、国内有数のリサイクル拠点となっている

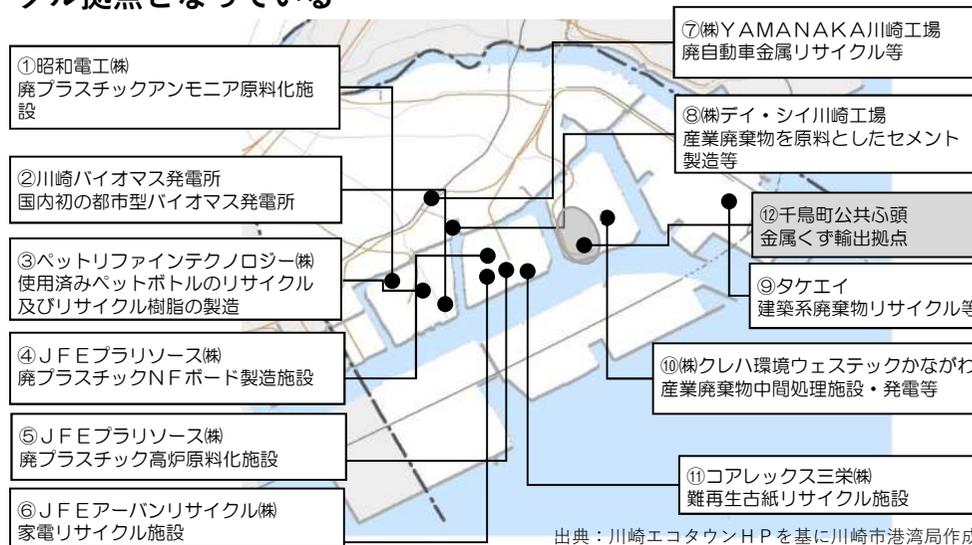


図 金属くず輸出先の変遷



出典: 「リサイクルポート施策の高度化に向けた今後の取組」(国土交通省港湾局平成30年3月)

図 グリーン成長戦略 (カーボンリサイクル・マテリアル産業)

現状の課題  
 ・国内で発生するスクラップを活用したリサイクルの高度化や代替・省資源化が必要

今後の取組  
 ・不純物除去技術を開発することで鉄スクラップを原料とする製法からの供給を実現し、リサイクル材の活用を促進する

出典: 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 (内閣官房ほか)

# 川崎港の将来像について



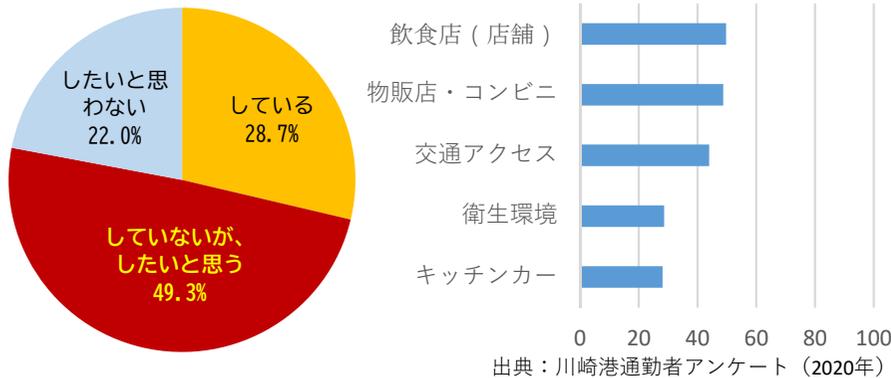
## 川崎港の将来像④

業務の前後を含め快適で充実した時間を過ごせる誰もが働きたいと思える地域環境であるとともに、国際空港に隣接、航空機や船舶が行き交う眺望などの立地特性を活かした特別な体験ができる港

## 川崎港の強み・役割 等

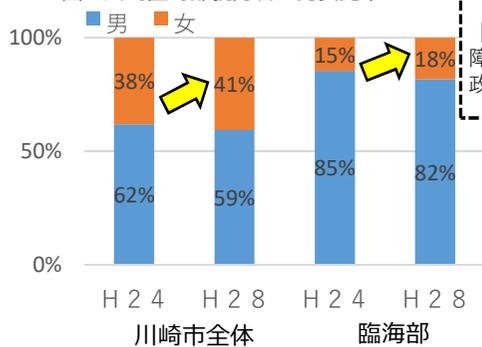
○川崎港の就労者は業務前後での余暇活動の意思があり、飲食店等の施設や、交通アクセス等の充実を期待している

図 業務の前後での余暇活動実施の有無 (%) 図 川崎港に求める施設・機能 (%)



○川崎臨海部においても、就労者の多様化が進んでいる。

図 川崎臨海部就労者の男女比率



出典：平成24年、平成28年経済センサス

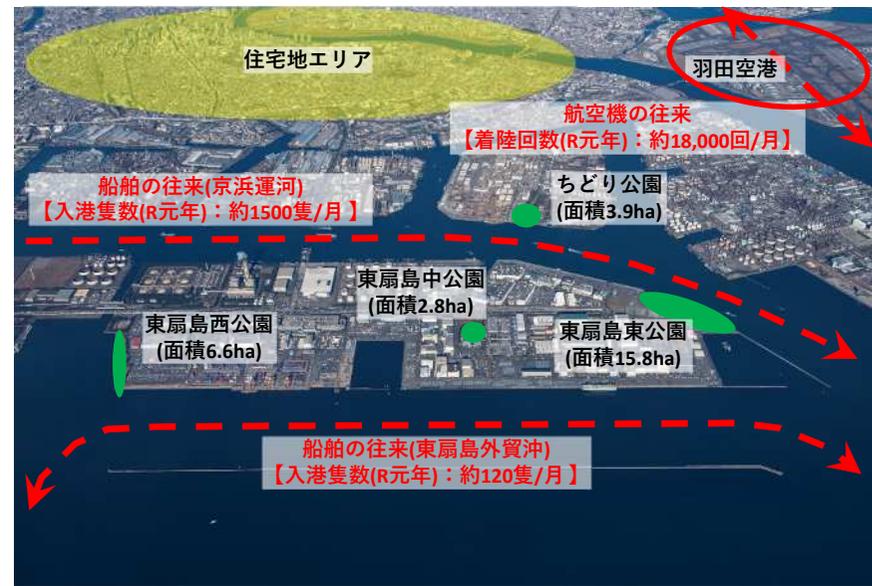
●合理的配慮の提供等に関する基本方針 (R4.1策定, 川崎市)

【本市のあるべき姿】  
障害のあるなしに関わらず誰もが同じように行政サービスの提供を受けることが出来る状態。

写真 多目的トイレの設置例 (設置場所：東扇島西公園)



○川崎港は住宅地に隣接しない大規模な緑地や多くの船舶や航空機の行き交う眺望などを有している



○官民の多様な主体が川崎港でイベントなどを開催している。

【野外フェス】  
(主催：民間企業)



【世界につながる川崎港！】  
(主催：川崎港運協会・かわさき市民活動センター)



【川崎みなと祭り】  
(主催：川崎商工会議所, 川崎港振興協会, 川崎市)



(児童を対象とした見学会)

# 川崎港の将来像について



## 川崎港の将来像⑤

産業活動や市民生活を災害等から守るとともに速やかな復興に寄与する、強靱な社会インフラや港湾機能を維持するための協力体制等が整っている港

## 川崎港の強み・役割 等

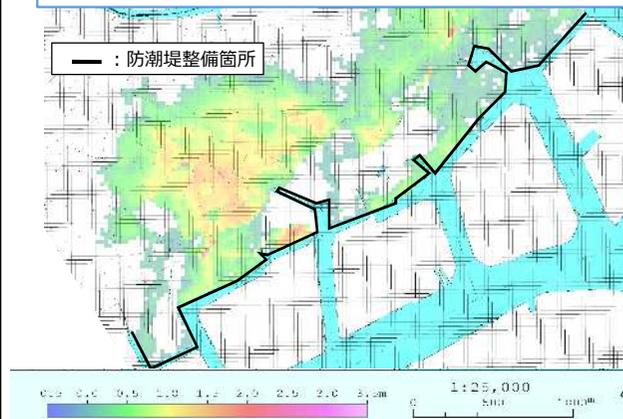
○首都直下地震等による、広域・甚大な被害に対し、応急復旧活動を行う国の基幹的広域防災拠点が立地しており、川崎市等の関係機関も参加する防災訓練を実施している



○川崎港は高潮等から市民等を守る役割を担っている

図 防潮堤整備位置と浸水想定区域

想定台風規模：伊勢湾台風級  
受益人口：約11万人（川崎市内の浸水想定区域（防潮堤がなかった場合））



出典：川崎港防潮堤機能調査（平成15年度）

【防潮堤】



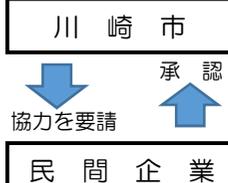
【防潮扉（引き戸式）】



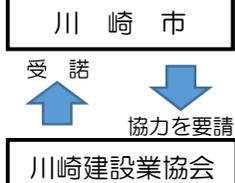
○民間企業と災害時の連携に関する協定を締結している

図 民間企業との協定イメージ

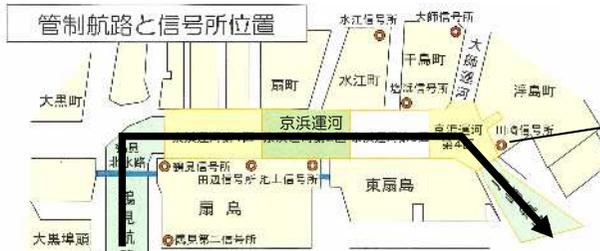
○応急復旧資材の供給に関する協定



○災害時における応援に関する協定



○京浜運河では、総トン数1,000t以上の船舶について一方通航の運用をするとともに各所に管制信号が設置され、航行船舶の安全が確保されている



○：管制信号



出典：「東京湾海上交通センター利用の手引き」を基に川崎市港湾局作成

# 川崎港の将来像について



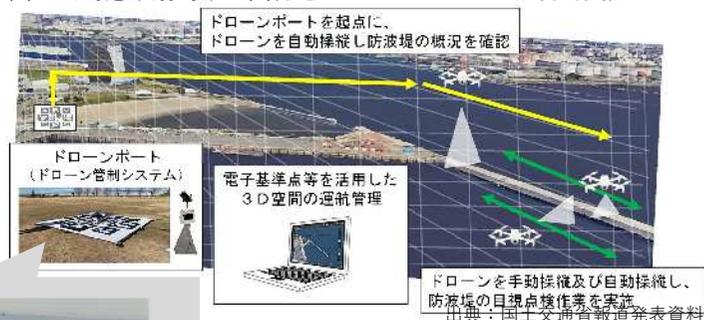
## 川崎港の将来像⑥

デジタル技術の発達等、今後の急激な社会経済環境の変化に柔軟に対応し、持続的に発展する港

## 川崎港の強み・役割 等

### ○ドローンの現場実装に向けた国の取組に川崎市も協力している

図 川崎港東扇島東公園付近におけるドローンの現場実証

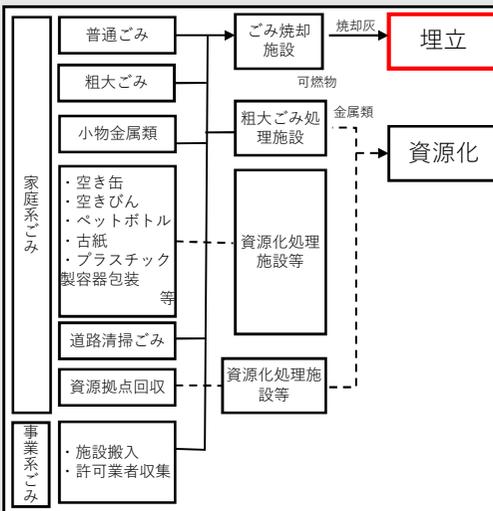


### ○持続的な市民生活等を支えるため、川崎港の土地造成に廃棄物等を活用している



**(建設発生土)**  
(例)  
・川崎市役所本庁舎整備工事  
・橋処理センター整備工事  
等からの発生土砂

### (一般・産業廃棄物) 図 川崎市のゴミ処理フロー

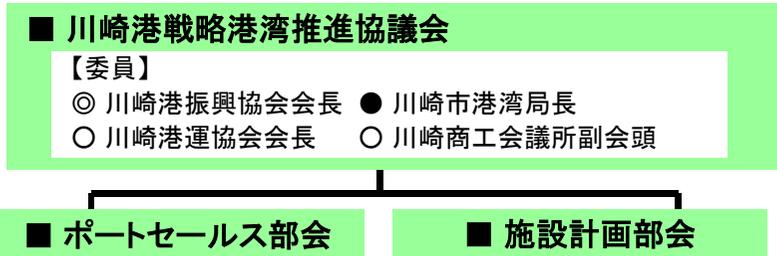


**(浚渫土)**  
(例)  
・港内水深維持のための浚渫土  
・台風の影響により多摩川に堆積した土砂の浚渫土

### ○川崎港では官民で共通した目標を設定し、ソフト・ハード両面での連携した取組を推進している

図 官民連携した協議会の構成

官民目標：20万TEU/年（令和7年度までに）  
取組：積極的なポートセールス  
取扱能力向上のためのコンテナ関連施設の整備・荷役機械の導入等



出典：川崎市一般廃棄物処理基本計画